

・連合山形青年委員会・

かわらばん



第4号

(組織内部資料)

連合山形青年委員会
発行責任者 加藤 理

連合山形青年委員会

「第27回総会」・「学習会」を開催します

青年委員会総会が下記の日程で開催されます。

2016年の取り組みを総括し、これからの活動方針を決める大事な総会になりますので、より多くの皆様のご参加をお願いいたします。また、総会に引き続き学習会も予定しています。「青年層の組合員に期待すること」と題して、講演になりますので、是非ご参加ください。

☆日 時 2016年10月27日(木) 12:30~受付

☆場 所 山形市「大手門パルズ」

☆内 容 【1部】総会 13:00 開会 14:20 閉会

【2部】学習会 14:30 開会 16:00 閉会

講 演:「青年組合員に今、期待すること」

講師 連合山形事務局長 設 楽 正さん

連合山形2016青年交流集会を開催しました

☆日 時 2016年9月9日(金) 14:30開会/10日(土) 12:00解散(1泊2日)

☆会 場 (宿泊) 舟形町若あゆ温泉「あゆっこ村」
(体験学習) 新庄市「東山焼き」

☆学習テーマ

「格差是正」誰がするの?

青年労働者でしょ!」

☆分散会内容

自分の今の賃金と現状から、必要額、
要求額を話し合う

☆体験学習

「新庄東山焼き」(陶芸教室)



(次頁へ続く)

青年交流集会は、毎年各地域協議会の青年委員会を中心に実行委員会を結成、持ち回りで開催しています。今年は9月9日（金）～10日（土）にかけて新庄最上管内で開催、43人の参加者で交流を深めました。

1日目は、舟形町若あゆ温泉の「あゆっこ村」を会場に、6班のグループに分かれ、分散会を行いました。テーマを「格差是正 誰がするの？ 青年労働者でしょ！」とし、各々の現在の賃金や現状を話し合い、健康で文化的に生活していくためにはあといくら必要なのかをまとめ、「要求額」とその理由を発表しました。業種や個人によって様々な意見が飛び交い、共感や新たな発見が生まれました。

2017春季生活闘争での青年としての要求書づくりに参考となる大変有意義な交流を行うことができました。

分散会後は、バーベキューを楽しみつつ、豪華賞品を賭けて班対抗のレクリエーションを行い、大いに盛り上がりました。

2日目は、場所を「新庄東山焼き」工房に移動して陶芸教室の体験学習を行いました。参加者は、講師の説明を真剣に聞き、思い思いの作品を作ろうと作品づくりに没頭していました。出来上がりを期待して和気藹々と話し合い、さらなる交流を図ることが出来ました。

今後につながる学習と、普段できない貴重な交流を行うことができた2日間でした。



参加者



分散会



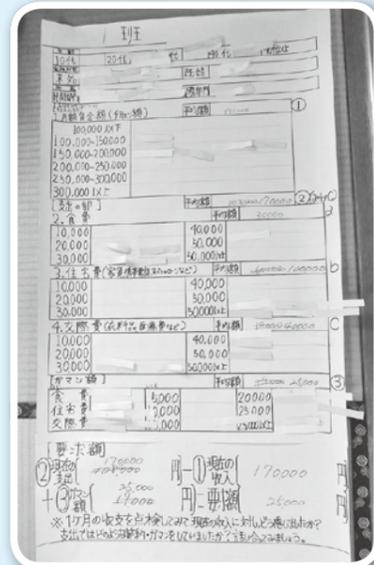
分散会



交流会



分散会報告



分散会報告



東山焼き

(次頁へ続く)

参加者の声

分散会について

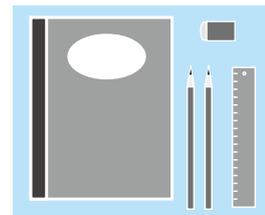
- 民間での違いや業種による、労働環境の違いをリアルに聞けた。
- 直接生活に関わることで、皆で共有できる話題であるため盛り上がった。
- 模造紙にそって話を進めることができたので、具体的などころまで踏み込んで話すことができた。
- 業種問わず共通のテーマである賃金、休暇の話だった為、スムーズに議論できた。
- 他の会社の人がどれくらいもらっていて支出がいくらかなど分散会に参加しないとわからないことを知ることができ大変有意義な時間でした。
- みんなガマンしている金額について詳しく聞くことができた。
- 自分の実態を他の方の実態を比べることができ、自分のライフスタイルについて見直すことができそうだと感じた。
- 全体的に底上げをしていかなくてはならないと感じた。連合の春闘要求に役立ててほしい。

体験学習について

- 仕事から離れてすごくリフレッシュできました。めっちゃ楽しかったです。
- コミュニケーションを取りながら家族へのお土産もできてよかった。
- 物づくりの楽しさを体験できてよかった。仕事でも物づくりをしてるが、楽しくないのは何が違うだろうと考えた。
- 集中力大事。
- 自分の納得する形にすることが難しかった。
楽しかったです。

交流集會に参加して

- 年代の近い多くの人と交流を深めてより世の中のことを知っておこうと思った。
- 休暇が取りたいときに取れるものではない。結局、会社ニーズで休まされる。自分が休みたいときに休めないことが共通認識として共有できた。
- 産別の交流は今後も必要と思う。(回数含めて)
- 同世代の自分の立ち位置が分かり有意義だった。
- 各労組での課題の多さを感じた。



**※来年は鶴岡田川地区管内での開催となります。
多数ご参加下さい。**